

やまと得々二情報

第210号 2014年1月1日

大和木材株式会社

〒891-1104 鹿児島市油須木町1299-1 番地

Tel 099-245-7048 Fax 099-245-7058

URL ; <http://www.synapse.ne.jp/~yamato-kk/>

Eメール ; yamato-kk@po.synapse.ne.jp

明けましておめでとうございます !

皆様お元気に新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、有難うございました。本年もよろしくお願い致します。

今年の干支は甲午（きのえ・うま、こうご）です。60年周期の干支(10干12支)の後半30年の始まりであり、変化の年でもあるようです。従来の踏襲を望む動きと新しい枠づくりを望む動きがせめぎ合う年となるそうです。180年前の1834年は天保の改革、1894年は日清戦争開戦、1954年は民主党(自民党の前身)の結党がありました。2014年はどんな年になるのでしょうか？(憲法改正・消費増税・TPP・中韓問題……etc) 予測は予測として、我々はこれまでの「国産材復権」の努力を礎に、発展・前進する年にしたいものです。

さて、木材業界は昨年後半からの住宅着工増に対応しきれずに、品不足・高騰(S50年代よりはまだ安い。原木高が先行し、製材所は忙しいだけで採算が確保されない)を続けていますが、2~3月位までは続くのではないかとされています。しかし、4月の消費増税以降はどうか予想が付きません。しかも、すでに一部の大手ハウスメーカーや、プレカット工場では、材料の安定供給という観点から再び外材へシフトするところも出てきました。4月以降は需給バランスの変動により木材の価格が下落することなく、山を維持し、製材工場が採算に合う状況を作り上げていきたいですね。

鹿児島県では今年度から間伐推進5箇年計画が始まり、平成32年度には木材生産量100万m³を目指して、様々な施策を実行していくようです。木造住宅建築促進や公共施設等の木造・木質化も計画されています。また国も公共建築物木造化や一般住宅取得に対する「すまい給付金」の補正予算(1,600億円)を組むなど消費税増税後の景気対策を打ち出しています。

また、今年は、東京オリンピックに向けた施設への木質材料の活用など新しい動きも期待される1年となる事でしょう。

皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを祈念します。

【情報】

かごしま地材地建グループの県外研修が行われます

日時 平成26年1月21日(火)~22日(水)

場所 長崎県諫早市 浜松建設(モデルハウスによる会社のファンづくり ハウスカーポートシステムを採用)

福岡県東区 耳納杉産直ネットワーク(地産地消の家造り)

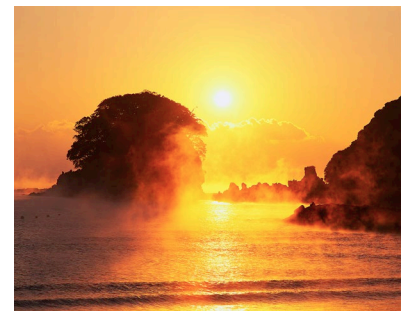
主催 かごしま地材地建グループ連絡協議会

【定休日】

1月は1, 2, 3, 4, 5, 12, 18, 19, 25, 26日となります

2月は2, 8, 9, 15, 16, 22, 23日となります

宜しくお願いします。



由比ガ浜の日の出

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)